

きじむんの

どう〜ちゅいむにい〜



— 第 1 回 —



首里城正殿跡に建つ琉球大学本館
(1950 年代)

キーワード:琉球大学開学・首里城の碑・首里の杜

今年の「きじむんのどう〜ちゅいむにい〜」は、みんなが知っているようでよく知らない琉球大学内外にある史跡や遺物に関するトピックを取りあげ、ディープな歴史・文化を 12 回連続で紹介します。どうぞお楽しみに！ 第 1 回目は「首里城の碑」(「SHURI CASTLE」)に関するお話です。

琉球大学開学まで

琉球大学は、1950 (昭和 25) 年 5 月 22 日、戦火によって壊滅した首里城跡に、「米国民政府令第 30 号」^{注1)} をうけ、開学しました。首里城跡に琉球大学を設立するまで、大学の候補地は①那覇市天久、②那覇市小祿、③首里城跡の 3 か所があがっていたようです。首里城跡地への琉球大学建設は、当時の沖縄民政府文教部長だった山城篤男 (やましろ・あつお: 1888~1968) が、米軍政府^{注2)}情報教育部長アーサー・E・ミードやマッカーサー司令部琉球局長ジョン・H・ウェッカリング准将らにすすめました。建設にかんしては、民政府内でもいろいろな意見が出ていたようですが、結果的には、先祖が築いた政治や歴史、文化のシンボルである首里城跡に建設することが最もふさわしいという山城篤男らの主張が採用されました。

首里城の碑 (「SHURI CASTLE」) について

琉球大学の建設が決まった首里城跡に 1949 (昭和 24) 年 1 月、建物建築にむけ整地作業がはじまりました。そして大学本館・木造かわらぶき普通教室 (8 棟)・図書館・コンセット男子寮 (12 棟)・職員住宅 (10 棟) …と次々と建造物が仕上がり、「首里城の碑」(「SHURI CASTLE」) が米軍当局により建立されました (1950)。碑は英文で書かれています。日本語では次のように訳されています (碑の裏面)。

沖縄戦で跡形もなく破壊された首里城は、1166 年から 1879 年の間、琉球国王の居城であった。琉球王国がその黄金時代を誇った 1477 年から 1526 年にかけて、壮麗な建造物が構築された。現在は、琉球大学の本館が、その首里城正殿跡に建っている。

琉大首里キャンパス本館の横にあった碑は、その後首里キャンパス内を転々と移動しますが、琉球大学 50 周年記念事業の一つとして、2000 (平成 12) 年 5 月 22 日「首里の杜」に移されました。



「首里の杜」碑と「首里城の碑」

「首里の杜」の碑について

琉球大学は、開学〜琉球政府^{注3)}へ移管 (1966 年 7 月)〜本土復帰に伴い国立大学へ (1972 年 2 月) とかわり、



「首里の杜」内にある彫刻「なみ」

2004 (平成 16) 年 4 月に国立大学法人化されます。また、首里城復元事業が本格化すると移転を余儀なくされ、現在の「千原キャンパス」「上原キャンパス」に移ってきました。「首里の杜」は開学 45 周年・移転完了を記念して琉球大学同窓会を中心に造成されたもの (1989 : 平成元年) です。「首里の杜」の碑の銘文には、琉球大学が首里城跡に開学した首里時代の思い出を残すため、キャンパス内にあった「開学の鐘」や樹木を移設し、併せて移転完了の記念として造成したと記されています。それで「護国寺の鐘」の複製・「開学の鐘」(米軍使用済みのガスボンベ) など、も、「首里の碑」とともに設置されているのです。

琉球大学の歴史や構内にある史跡・文化についてもっと知りたいと思うかた、沖縄資料室には 10 年ごとに琉球大学が刊行している記念誌があります。ぜひお読み下さいね！ (沖縄資料担当: NK)

注 1) 米軍政府が発令した「琉球大学に関する基本法」のこと。

注 2) 米国民政府 (USCAR) の前身。1946 年 7 月 1 日~1950 年 12 月 5 日まで続いた。

注 3) 米国民政府の布告第 13 号「琉球政府の設立」をうけて創立されたが、最終的権限は米国民政府にあった。前身は「沖縄民政府」。

参考資料) 沖縄タイムス編『琉大風土記』(沖縄タイムス/1990)・山里勝己『琉大物語 1947-1972』(琉球新報/2010)